



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：アラブ連盟（機構改革のための5カ国首脳会議）（6月29-30日付現地各紙）

6月29-30日付エジプト各紙は、28日にリビアのトリポリで開催された、アラブ連盟機構改革のための5カ国首脳会談および10月に予定されているアラブ連盟特別サミット等について報じた。概要は以下のとおり。

1. 5カ国首脳会議

- (1) この首脳会談は、3月のシルテ・サミットの決定事項実施のために設置されたリビア、カタール、イエメン、イラク、エジプトから構成されるハイレベル5者委員会の協議の文脈で開催され、28日、アムル・ムーサ・アラブ連盟事務総長出席の下、リビアのトリポリにおいてムバーラク大統領、カッザーフィー・リビア指導者、サーレハ・イエメン大統領、ハマド・カタール首長、タラバーニー・イラク大統領が会談を行った。
- (2) 5カ国首脳会議では、アラブ連盟の機構改革およびこれに属する主要機関の発展、今後は年に2回その年の議長国において首脳会議（通常首脳会議、諮問首脳会議）を実施していくこと、経済・社会・開発・文化など各テーマに特化した種別サミットの開催（2011年にはエジプトで第2回アラブ経済・社会・開発サミットが開催予定）、首脳会議での決定事項を履行するための各国首脳級による執行議会の設置、経済・貿易に関する閣僚級評議会の設置等が勧告された。
- (3) また、アラブ連盟機構改革問題に関し、同首脳会議では、タイムフレームを設置した上で「アラブ連盟」および新「連合憲章」設置等に関する根本的改革を早急に行うという第一の観点と、「アラブ連合」は保留しつつ現在の「アラブ連盟」の形態は残しつつも徐々に機構改革を行っていくという第二の観点とで議論がなされた。
- (4) シルテ・サミットでのアラブ連盟改革にかかわる決定事項および今回の5カ国首脳会議での勧告事項は、10月にリビアで予定されているアラブ連盟特別サミットで協議される予定である。